

東京都職員採用選考

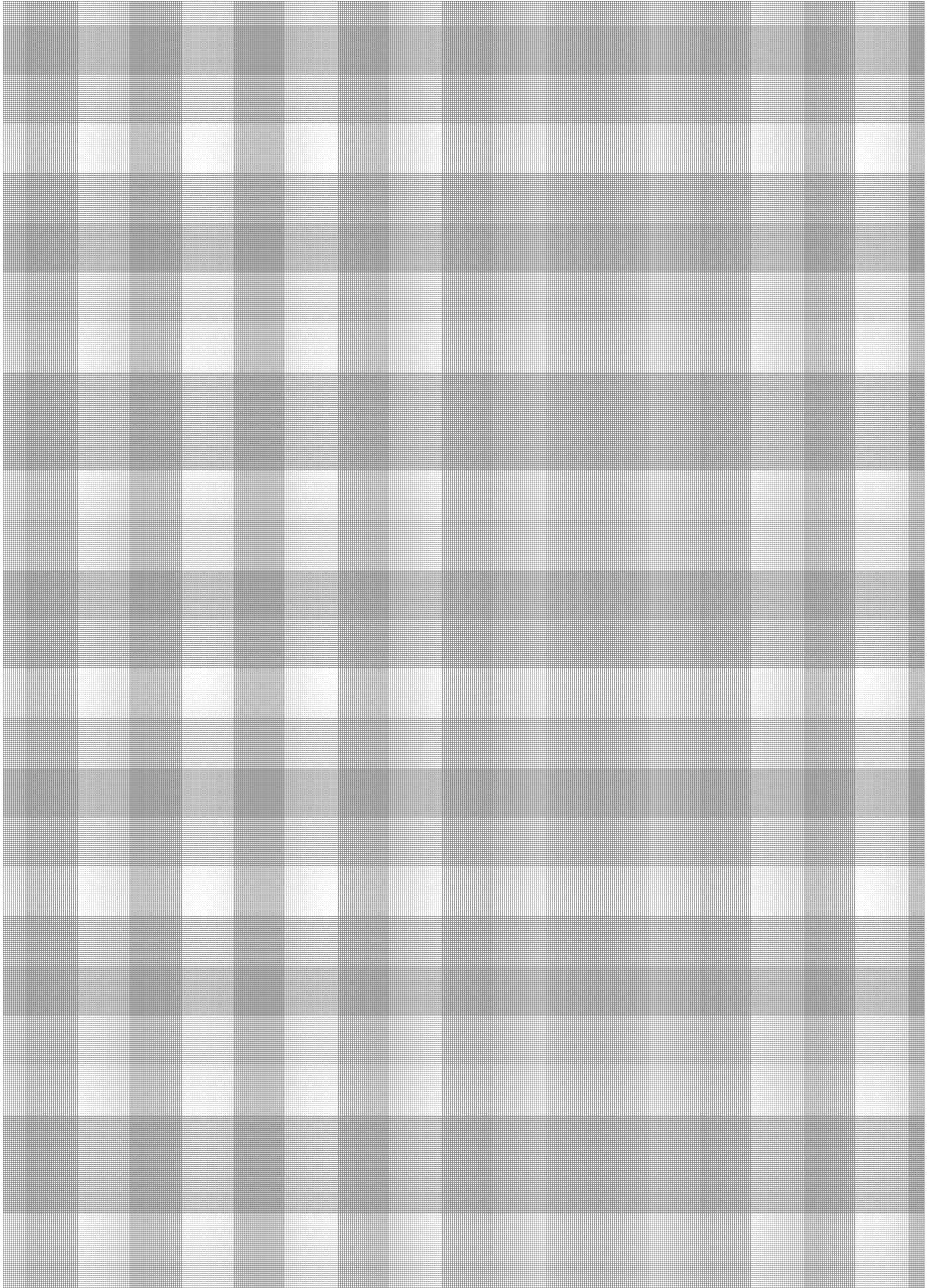
【Ⅱ類 臨床検査】

(令和6年11月2日実施)

試験問題（専門）

注 意

1. 問題と答案用紙は別になっています。必ず答案用紙に解答してください。
2. 問題は全部で7題あります。
3. 解答時間は1時間30分です。
4. この問題冊子は持ち帰ることができますが、答案用紙は絶対に持ち帰らないでください。



【問題 1】

次の問に答えなさい。

(1) 「クリティカルバリュー (通称「パニック値」)」として、報告すべき検査値はどれか。

以下より 4つ 選択し、番号を記入せよ。

(日本臨床検査医学会：臨床検査「パニック値」運用に関する提言書 2024 年改定版参照)

1. K 7.0 mmol/L
2. Na 130 mmol/L
3. グルコース 40 mg/dL
4. LD 300 U/L
5. クレアチニン (Cr) 10.0 mg/dL
6. 白血球数 (WBC) 3 万/ μ L
7. 血小板 50 万/ μ L
8. ヘモグロビン 15.0 g/dL

(2) 「感染経路」について、次の()内に下の語群から適切な語句を選び、文章を完成させなさい。同じ語句を何度使用してもよいものとする。

感染経路別の主な病原体として、(①)感染するのは、*Mycobacterium tuberculosis*、(②)、(③)などがある。一方、(④)感染するのは、*Neisseria meningitidis*、(⑤)、(⑥)などがある。

<語群>

空気 飛沫 接触 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)

麻疹ウイルス *Clostridioides difficile* 水痘ウイルス

風疹ウイルス *Mycoplasma* 属菌 ノロウイルス

【問題2】

「腫瘍に対する免疫組織化学的マーカー」について、次の()内に下の語群から適切な語句を選び、文章を完成させなさい。同じ語句を何度使用してもよいものとする。

腫瘍に対する免疫組織化学的マーカーの診断感度と特異度は低いものの、がん治療中の経過観察や再発チェックの面では有用とされている。臓器特異性の高い腫瘍マーカーとしては、膀胱癌の(①)、卵巣癌の(②)、乳癌の(③)や(④)、前立腺癌の(⑤)、扁平上皮癌の(⑥)などがある。

<語群>

CD117 (c-kit)	エストロゲン受容体 (ER)	PIVKA-II	PSA	
CA19-9	AFP	CA125	SCC	CA15-3

【問題3】

「毒物及び劇物取締法」について、次の()内に下の語群から適切な語句を選び、文章を完成させなさい。同じ語句を何度使用してもよいものとする。

毒物及び劇物取締法では、(①) や (②) は劇物に指定されている。

(②) は、特定化学物質障害予防規則で、特定第2類物質に分類されており、管理濃度は(③) ppm と定められている。また、(②) 蒸気には刺激性があり、(④) が指摘されている。(②) を含む固定液には、(⑤) がある。

<語群>

0.001 0.01 0.1 1 2 3 4 5

イソプロピルアルコール ホルムアルデヒド (ホルマリン)

エタノール アセトン 塩酸 可燃性 誘爆性

引火性 発がん性 ザンボーニ<Zamboni>液 ツェンカー<Zenker>液

カルノア<Carnoy>液 ブアン<Bouin>液 PLP 液

【問題4】

「脱灰処理」について、次の()内に下の語群から適切な語句を選び、文章を完成させなさい。同じ語句を何度使用してもよいものとする。

脱灰処理時には、脱灰前に十分(①)することが重要で、脱灰する組織片は可能な限り(②)切出す。脂肪に富む組織片の場合、(③)に脱脂操作を行う事が望ましい。

EDTA 脱灰法は、組織傷害が(④)、染色性や抗原性の保持が(⑤)。脱灰速度は(⑥)。

脱灰完了後は、組織片を直ちに水に入れると組織が膨化する為、(⑦)や(⑧)などで中和処理後、十分水洗しなければならない。

<語群>

脱水 固定 脱気

厚くて大きく 薄くて小さく

脱灰操作前 脱灰操作後

多い 少ない 良い 悪い 早い 遅い

塩酸アルコール 水酸化カリウム 硫酸ナトリウム 炭酸リチウム

ミョウバン リン酸緩衝液 硫酸アルミニウム アンモニア エタノール

【問題5】

次の問いに答えなさい。

- (1) 「肝臓」に関連する文章について、次の()内に下の語群から適切な語句を選び、文章を完成させなさい。同じ語句を何度使用してもよいものとする。

肝硬変では肝臓内に生じた線維化のため、肝臓は(①)なり、肝臓に流入する血管の抵抗が高まる。その為、門脈圧が亢進することで腹水、(②)、(③)、(④)などの合併症が起きる。

<語群>

大きく	小さく	脳梗塞	胸水	食道静脈瘤	下肢静脈瘤
腹壁静脈怒張	肝腫大	心筋梗塞	女性化乳房		

- (2) 健常成人で肝臓に接している臓器を、下記の語群より4つ選択し、記入せよ。

<語群>

心臓	肺	横隔膜	胃	十二指腸	直腸	副腎	膀胱	子宮	小腸
----	---	-----	---	------	----	----	----	----	----

【問題6】

次の問いに答えなさい。

(1) 「染色法」に関連する文章について、次の()内に下の語群から適切な語句を選び、文章を完成させなさい。同じ語句を何度使用してもよいものとする。

H-E 染色のエオジンは、(①) であるが、中性領域では組織蛋白質へは親和しにくい。そこで(②) を用いる事で、組織蛋白質とエオジンがより親和しやすくなり、(③) が増大する。

その為、エオジン染色液には通常 (②) が添加される。

<語群>

酸性色素	アルカリ性色素	好塩基性	好酸性	
塩酸	硫酸	アンモニア	炭酸リチウム	酢酸

(2) 疾患とその診断に有用な染色法との組み合わせについて、次の()内に下の語群から適切な語句を選びなさい。

肝硬変 _____ (①)

心筋梗塞 _____ (②)

慢性糸球体腎炎 _____ (③)

B型肝炎 _____ (④)

<語群>

PAM 染色	H-E 染色	azan 染色	Papanicolaou 染色	Victoria blue 染色
渡辺の鍍銀法	Grocott 染色			

【問題7】

「上皮」に関連する文章について、次の()内に下の語群から適切な語句を選び、文章を完成させなさい。同じ語句を何度使用してもよいものとする。

重層扁平上皮で覆われているのは、皮膚、(①)、角膜、(②)などに認められる。一方、多列線毛上皮は、(③)、(④)などに認められる。また、単層円柱上皮は、(⑤)、(⑥)に認められる。

<語群>

膀胱	膈	鼻腔	胃	胸膜	気管支	食道	大腸	尿管	尿細管
----	---	----	---	----	-----	----	----	----	-----

